

第72回

福井県公民館大会に参加して

運審連会長

大安寺公民館 運審委員長

田安 敏男

令和5年10月4日(水)「人と地域の絆を紡ぎつなげる公民館」を開催テーマに第72回福井県公民館大会が県立大学講堂で開催されました。福井市からは市公連、運審連ほか公民館関係者約40名が参加しました。県公民館連合会中村准会長のあいさつに続いて18名の公民館館長、主事が連合会長表彰を受けました。引き続き、地元永平寺副監院西田正法老師による記念講演が行われ、縁を大切にこれを学び、人生に生かす生き方の大切さ、仏道などについてわかり易く説かれました。昼食を挟んでバイオレットエコーによる合唱のアトラクションの後、事例発表が行われました。令和4年度文部科学省優良公民館表彰を受けたおおい町佐分利公民館の国久康宏館長から「歴史が繋ぐ地域の心と絆」と題したテーマで、坂井市大関コミュニティセンターの伊藤浩センター長から「子どもたちとつくる住みやすいまち大関」と題したテーマでそれぞれ報告がありました。閉会式では地域の拠点として公民館、コミュニティセンターの役割を改めて見つめ直し、持続可能な地域づくりのための具体的な活動指針である4項目の決議とその実現に向けて努力していくことを謳った宣言を満場一致で採択し閉会しました。



東海北陸公民館大会(岐阜大会)に参加して

大会主題 未来を指向する公民館

～人・地域を育む拠点としての新たな高みを求めて～

国見公民館 運審委員長

水上 日出美

令和5年10月20日(金)大垣市ソフトピアジャパンを会場に開催されました。運審連からは8名が参加し、4つの分科会にわかれて各地域の取組について話を聞きました。

第3分科会「人材(含む高齢者・青少年)の育成と支援」では、地域住民の社会参画を促す活動と支援を主題とし、2つの活動報告がありました。

1つ目は、越前町生涯学習センター系生分館館長の中上弘一氏から「やってみようさ『いと防災キャンプ』』というテーマで、令和3年7月の豪雨による被害の経緯と現状について説明がありました。

2つ目は、NPO法人まごころの会の代表の坂口慈幸氏から「社会に出ていく子どもたちを地域で育てる」というテーマで発表がありました。市の青少年健全育成委員や青少年健全育成市民会議、美濃市家庭教育支援チーム等様々な団体に関わり、青少年だけではなく保護者や地域を対象として事業や講演会などの活動を実施しているとのことでした。

安心して暮らせる地域環境を作り上げるのは、地域住民と各種団体、公民館が一体となって、災害に強い活力あるまちづくりに取り組み、事業を積極的に展開しなければいけないと感じました。



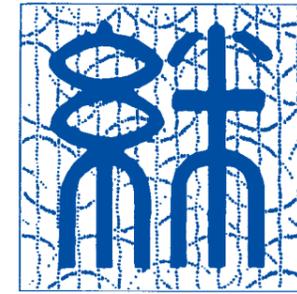
編集後記

令和5年度の広報委員の皆様は各地域で開催されたイベントや話題を集め、寄稿や編集に御協力ありがとうございました。北陸新幹線も走っています。福井市も益々活気ある市になると期待が膨らみます。

2024年(令和6年)3月13日発行

運審連だより  
きずな

第73号



福井市公民館運営審議会連絡会

事務局 中央公民館内  
福井市手寄1-4-1 アオッサ5階  
TEL20-5459・FAX20-1538



令和5年11月3日 西部緑道イルミネーションコンサート

社北地区について

社北公民館 運審委員長

笈田 淳一

社北地区は、約1,500年前に始まった笈谷石採掘や奈良東大寺の荘園「道守の荘」として栄えた歴史など福井でも有数の歴史あるまちです。

毎年2月に中学生や住民とで実施する「まちづくりワークショップ」で、地域の現状分析と目指す方向の決定を行い、まちづくり活動を展開しています。しかし、コロナ禍によりここ数年行事の中止が続いたため、地域交流の意識が薄れ、以前の形に戻ることの困難さを感じていました。

そこで、令和4年に「地区事業検討委員会」を立ち上げ、地域の現状に適した事業の形を模索し、令和5年から新しい地区事業としてスタートさせました。

これからも、先人が築いてきた伝統ある事業と時代のニーズに合った新しい事業を融合し、多くの住民が集い笑顔あふれる社北のまちを創っていききたいと思います。